
瑪瑙の飴玉

とびっこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

瑪瑙の飴玉

【コード】

N1970J

【作者名】

とびっこ

【あらすじ】

魔法と機械が混じりあつた世界で

やっと会えた僕のご主人様。

そう言った一人の孤高の少女がありふれた普通の少女に笑みを向けた。
そこから再び進み出す二人の物語。

かっこいい事言ってみましたが、ほぼギャグです。
女の子二人が恋愛を試みたりたまにシリアスな空気を出したり笑
いあったりぶつちやけなんでもありのカオスな話です。
混沌の中に小宇宙を感じたい。
そんな思いをぎゅっと閉じ込めてみました。

プロローグ

恵まれた環境。

与えられた才能。

誰もが私に貴女の様になりたいと言った。

自信に満ち溢れ己の目指す道を振り返る事無く進むのが素晴らしいのだと賞賛する。

違う。

違うのだ。

本当は怖い。

何をしたらいいのか分からない。

ただそうしていれば否定の言葉が飛んでこないからしていただけのこと。

誰もわかってくれやしない。

そこは寒いのだ。

暖かいものなど何一つ無い。

でも、たった一人。

たった一人が私の事を見てくれるのなら何だって出来る気がした。

それまで周りの目を気にしていた自分とは違う自分が居た。

誰も変わった事など気付かなかった。

こんなにも変わったのに。

けれど気付いて欲しい人が傍に居ない。

触れられない。

声すら聞けない。

そんなんじゃない意味が無いじゃないか。

早く会わないと壊れてしまう。

変わってしまったのが絶望に変わる前に会わなくては。

早く抱きしめて私の名前を呼んで。

私のご主人様。愛しい人。

どうか私が貴女を傷つけてしまわぬように貴女の声で仕草で命令して。

プロローグ（後書き）

初めましてとびっこです。

シリアスから始めましたがギャグを主成分に頑張っていこうと思うので生ぬるい目で見てくださいと嬉しいです。

R15タグが入っていますがグロ的な意味で入っています。

グロテスクな表現が苦手な方はひっそりと見なかったことにして下さい。

やましい表現はあつてキスマまでです。

恋愛と書いてあるのだからそれぐらいはすると思います。

それでは末永くお付き合いいただけたらと思います。

空気は見れますか。

「やっと見つけた、僕のご主人様！」

そう言つて人にタツクルをかましあまつさえ頬擦りをしている人間にどう対処すればいいのだろうか。

嫌がる宥めるなど何通りかあると思うが飛びつかれた彼女は何の行動を取る事が出来なかった。

そしてその光景を見ていた周りの人間達でさえ動く事が出来なかった。

それ程その行動が驚きと戸惑いを巻き起こす事だったからだ。

自分はいつもと変わりのない朝を迎えたはずなのに。

摩擦でそろそろ頬がヒリヒリと痛み出した事に目を背け朝から自分の行動を振り返ってみた。

世に言う現実逃避というやつをとった。

朝いつも通りに起き学校に向かった。

微力な魔力ながら学校の魔法科に在籍し、そのまま可もなく不可もなくといった

ありきたりな成績で卒業し小さな魔法店で働くとはかり思っていたのに。

この時点でそのささやかな希望が打ち砕かれてしまった。そろそろと増えていく野次馬達。

それでも一向に動く気配がない空気。

空気にまで見放されたのか。

少女が虚ろな目で空気を睨みつけるような仕草をとったのが珍しかったのか頬擦りを止めその視線の先を追った。

「お腹空いたの？」

交互に腹と顔を見られ真剣な顔で悩んでいる。

どうしてそう思った。

理解が出来ない、そう思った自分がこれから誰よりもその思考回路を理解できるようになるなどと予想出来るはずもなかった。

空気は見れますか。(後書き)

ギャグ？

三人称ってギャグ難しいことに今気がつきました。

むしろ2・5人称で頑張ります。

こまけえこたいいんだよ！！

それを合言葉に精進いたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1970j/>

瑪瑙の飴玉

2010年10月8日13時44分発行